

# 看護職員の負担の軽減及び処遇改善の取り組み

2026年4月1日～2027年3月31日  
医療法人財団東京勤労者医療会 代々木病院

## 1.看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する体制

(1)看護職員の負担の軽減及び処遇改善に関する責任者 看護部長

(2)看護職員の勤務状況の管理(勤務時間)

① 39 時間 25分 /週 以内 ② 連続勤務 6 日以内

③ 勤務状況・時間外業務及び時間・有給取得率の把握 ④ 夜勤明けの翌日勤務は原則公休とする

(3)看護職員の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

計画の策定 1 回/年 管理会議で他職種による評価を行う・職員への周知・院内掲示、HP

## 2.看護職員の負担の軽減及び処遇改善のための取り組み・計画

(1)勤務環境・処遇改善

目標	取り組み・計画
勤務表作成時の配慮	①夜勤明けの翌日は公休とする ②連続勤務は6日(39 時間 25分/週)までとする ③業務に必要な研修、制度研修の業務保証 ④平等に有給取得できるような勤務の作成
夜勤労働の負担軽減	①月夜勤回数4回以内、明けの翌日は原則休みとする ②夜勤専従看護師の採用検討 ③3人夜勤体制、遅番の配置 ④仮眠時間2時間の確保、仮眠環境の整備
柔軟な雇用形態の活用	①非常勤(パート)職員として多くの選択肢がある勤務時間の検討
子育て時期の職員への対応	①育児時間短縮、夜勤免除等、子の看護休暇の取得 ②育児休業の延長、その他個別相談での対応
適正な看護職員配置	①ハローワーク等の活用による採用活動の強化、欠員時の人数調整 ②様式9 での配置基準に対して余剰ある配置数の確認
人材の定着化	①面談等による職員の事情や希望の把握 ②職員の事情等を尊重した配置や業務面の配慮の実施
メンタルケア	①1 回/年のストレスチェック実施 ②メンタルヘルス研修(院内・外部)の計画、参加
看護補助者活用・協働の推進	①看護補助者研修の実施 ②看護師、准看護師を対象とした補助者活用研修の実施
腰痛予防対策	①スライディングシート等、補助用具の使用推進

(2)多職種との業務分担

項目	取り組み・計画
薬局	①配薬カート内薬剤セッティング、高カリ輸液ミキシング ②点滴・注射を患者単位で準備する ③病棟での配薬、服薬指導、持参薬管理を担い、医師及び看護師の負担軽減を図る
リハビリ	①病棟患者のリハビリ室への搬送等をリハビリ担当者で行う ②言語聴覚士により摂食嚥下のアセスメントを担い適切な食事形態評価を行う ③患者のポジショニングや環境設定を行う ④作業療法士により訓練の一環としての更衣を実施する
検査・放射線・臨床工学技士	①採血室で臨床検査技師による採血を行う ②検査のための患者送迎を可能な限り行う ③放射線撮影時の移動などを行う ④透析患者の送迎、穿刺を臨床工学技士が行う
医事課	①入院時オリエンテーション、書類の説明 ②クラーク業務
社会福祉士	①入退院に関する支援と相談および調整業務 ②医師や看護師の要請による、他医療機関との連絡調整
委託業者	①シーツ交換、ベッドメイキングの実施 ②物品搬送、補充 ③病棟内の清掃
日常生活援助 身体清潔ケア	①主に看護師が実施、看護補助者は看護師の指示のもと実施する